

大垣市介護サービス相談員だより

第29号（令和4年9月）



○介護サービス相談員は何をする人・・・？

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険事業所を訪問し、施設の利用者やその家族が日ごろ抱えている疑問、職員に直接言いにくいことなどを聞き、また相談員自らが気付いたことなどを事業所に伝えることによって、問題解決に向けた橋渡しをするのが、「介護サービス相談員」です。介護サービスの質の向上を目指して活動しています。大垣市では、現在13名の相談員が活動しています。

○介護サービス相談員の活動紹介

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問による相談活動が難しい場合は、Zoomや手紙を活用しての相談活動を実施しています。

ご利用者様の声

施設の返答・回答

話をしたいけど、周りにお話できる利用者も少なく、職員さんは忙しいから遠慮してしまいます。

職員からの声かけに努めていますが、なお一層取り組んでいきます。

スタッフさんに声をかけても、忙しそうであまり相手になってもらえず、寂しい。

声をかけて頂いても、限られたスタッフで業務を行う中、ゆっくりとお話を聞く時間を作れないこともあるのが現状です。
お話し好きな入所者様同士が交流できる場を作る取組を始めました。

お粥ではなく、ご飯が食べたい。

病院から施設に移って日が浅いため、お粥を食べていただいていたいました。様子を見ながら変更していく予定で、今は軟飯を食べて頂いています。

Zoomでの会話の後、利用者様から次のような言葉を頂いています。

「少し緊張したけど気分転換になった」
「充実した1日になった」
「楽しかった。またお話しできるといいね」

相談活動に当たって、施設から次のような声を頂いています。

- ・外部との関りが少なくなり、交流が減ってしまっている中で、介護サービス相談員との会話を楽しみにしている利用者様の姿が見られます。
- ・Zoomでの会話をお手伝いする中で、職員も初めてのお話を聴かせてもらうことがあります。
- ・手紙で温かいメッセージをありがとうございます。
- ・利用者様は、手紙に添えられた季節のイラストや写真を楽しみ、昔を懐かしがっていらっしゃいます。

○新しい介護サービス相談員を紹介します

今年度、介護サービス相談員養成研修を終え、活動を開始する新しい介護サービス相談員を紹介します。



松永 美由紀 相談員

昨年、母と叔母が相次いで怪我や病気になり入院し、退院後は在宅介護サービスを利用しましたが、単身の在宅は困難になり、その後介護施設に入所しました。短期間の間に、多くの介護事業者や入所者の方と接して、初めて介護制度や介護というものを身近に感じ、少しでも、利用者の方と事業者や行政との橋渡しができたらと思い、相談員に応募しました。

時節柄、相談員養成研修はオンラインで受け、コロナ禍での相談員活動は大変難しい状況であると感じました。早くコロナが収束して、訪問した施設で利用者の方と直接面談をし、よりよい相談員活動ができるようになることを望んでいます。また先輩相談員にもお話を伺いながら、活動していきたいと思います。

介護相談員だより 第29号(令和4年9月)

発行 大垣市介護保険課(介護サービス相談員派遣事業事務局)

電話: 47-7409 FAX: 81-6221

e-mail: kaigohokenka@city.ogaki.lg.jp